

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第128号

平成30年8月20日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470



夏だ！「科学の祭典」だ！①

今年も青少年センター主催、当協議会が共催で「青少年のための科学の祭典2018 神奈川大会」が、8月12日（日）、紅葉ヶ丘の青少年センターで開催されました。

昨年度より1週間日程が遅くなったため、お盆の土日と重なってしまい、参加者が大幅に減ってしまいました（約30%減）。しかし、午前に来た方がセンター内で昼食をとり午後もお見かけするなど、例年よりも参加者の滞在時間が長く、より濃密な1日を過ごすことができましたと思います。

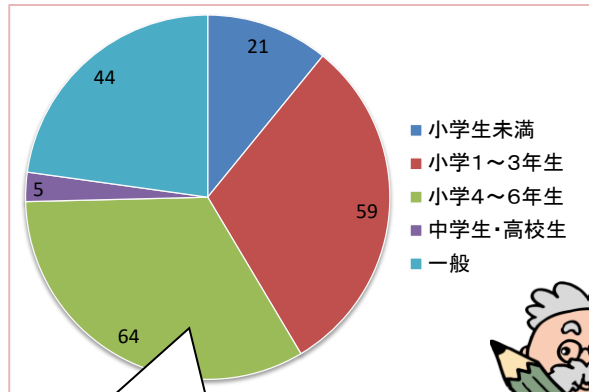
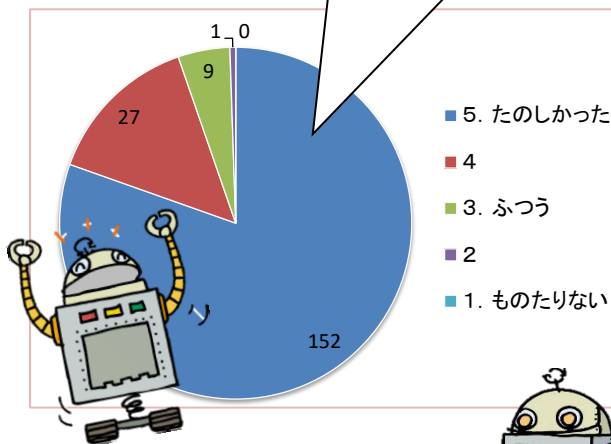
【参加者データ】（子ども＝高校生以下）

- 来場者総数＝599名
（子ども＝310名、大人＝289名）
※ちなみに平成29年度の来場者数＝880名
- 出展団体スタッフ＝152名
（大人＝105名、子ども＝47名）
- アシスタント＝27名（大学生インターンシップ
11名、教員3名、高校生13名）

80%が「楽しかった」

開場前から入場待ちの列が伸び、午前10時の開場時には約150人の方の列ができました。最終的に599名の来館者でしたが、191枚のアンケートが回収できました。次はアンケート集計結果です。

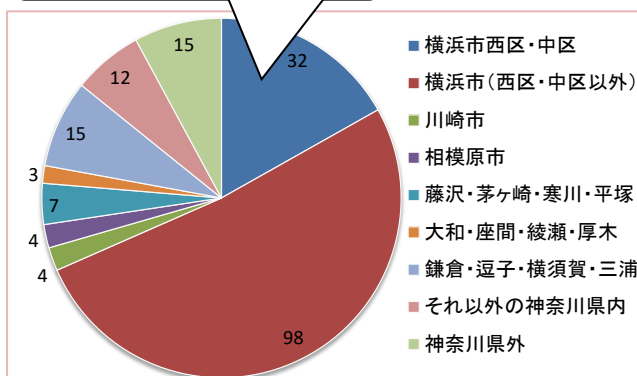
科学の祭典が「楽しかった」という回答が80%でした。「まあ楽しかった」を加えると満足度の肯定的回答が95%に達しました！



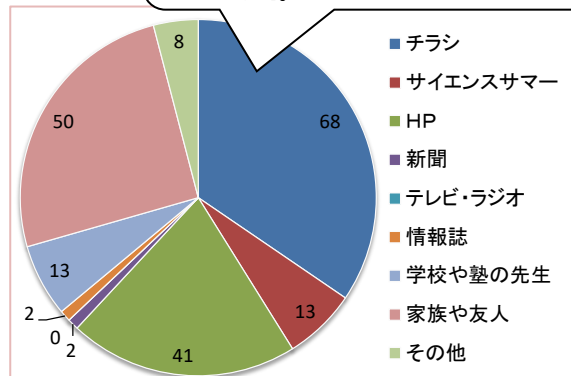
アンケートに回答してくれた年齢層で、最も多かったのは小学4～6年生（33%）、次に多かったのは小学1～3年生（31%）でした。



来場者の居住区域で多かったのは、やはり地元の横浜市で68%でした。








「科学の祭典」を知るきっかけとなったのは、チラシが最も多く、35%でした。次いで、学校や塾の先生25%、ホームページ21%でした。






23団体26出展の紹介

今回の「科学の祭典」も例年通り、当協議会の多くの会員さんに出展していただきました。3号にわたって、全23団体26出展を紹介いたします。(タイトル等、一部省略したものとあり。)

1 おもしろ科学ひろば	2 挑戦！自分を持ち上げられるか？	3 平工電子遊園地
おもしろ科学たんけん工房	神奈川県環境学習リーダー会	神奈川県立平塚工科高等学校
		
配線モールを利用して金属ボールを転がし、遊びながらジェットコースターの原理を考えました。	透明で柔軟なビニール袋を利用してゴム風船のような袋体を作り、開口部に挿したストローから息を吹き込むと…。	電子ルーレット、電子占い、電子ハンドベルなどの電子作品を実演したり、体験(操作)したりしました。

4 題名のないサイエンスショー	5 アルキホの組み立て	6 宝石を取り出そう！
平塚市立神田中学校 科学部	特定非営利活動法人 でい工房	神奈川県立向の丘工業高等学校
		
中学生が調べたいろいろな実験を紹介しました。掴める水、水中シャボン玉、象の歯磨き粉などを実演しました。	「アルキホ」とは「アクリル製キーホルダー」からの自作略語です。LED点灯基盤をアクリル板に挟んで作成しました。	県内の地層から鉱物(宝石の仲間たち)を実際に取り出します。速攻、安全方法で10分で鉱物を取り出しました。

7 金旭サイエンスキャラバン	8 ソーラーパッタを作ろう!	9 ピンホールカメラを作ろう!
平塚市立金旭中学校 科学部	PV-Net 神奈川	ほんま まさこ
		
自分たちで作ったロボットを動かしたり、箱の中からドーナツ状の輪を発射する空気砲を体験してもらったりしました。	手回し発電機を回して発電し、太陽光と勝負するゲームに挑戦しました。当日の参加者の中の順位も表示されました。	トイレットペーパーの芯を材料にして、簡単なカメラを作って、カメラ替えを映し出す仕組みを観察しました。

事務局から

事務局(科学部)移転

次号も「科学の祭典2018神奈川大会」の様子を特集します。(事務局：村上、高相、山田、宮城)

